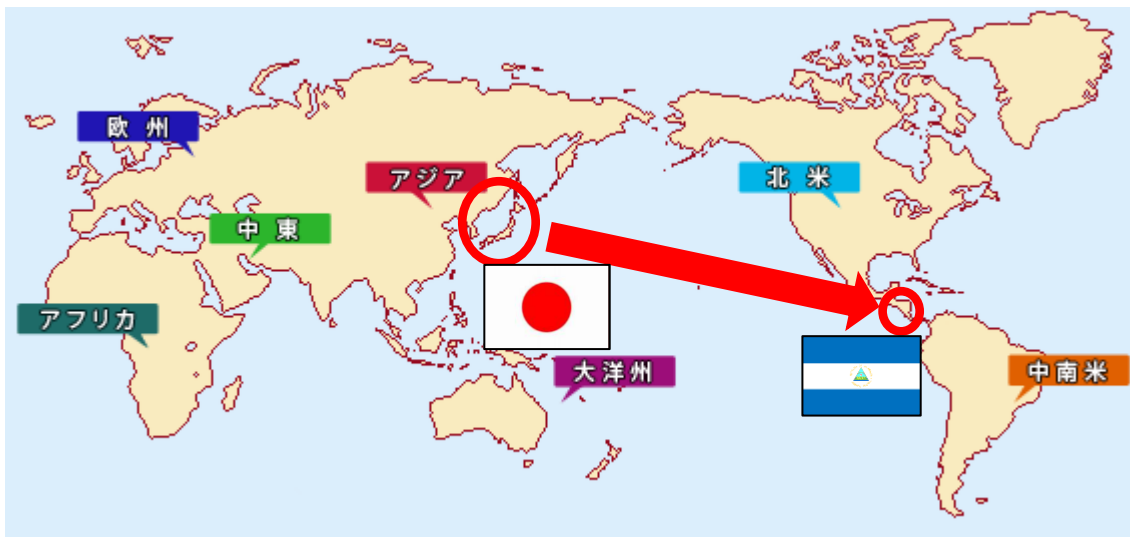


滋賀県の「うみのこ」をお手本に、ニカラグアでも小学生4、5年生が

「UMINOKO（ウミノコ）」を体験しています！

みなさん、ニカラグアという国、聞いたことがありますか？

ニカラグアはアメリカ大陸の真ん中あたりにあります。日本から飛行機を乗り継いで、2日以上かけてやっとたどりつく場所にあります。ニカラグア人はスペイン語を話し、明るく穏やかな感じの人が多います。そして、日本のアニメやお寿司などの食べ物に興味津々です。



日本とニカラグアの位置

日本は30年以上ニカラグアでいろいろな協力をしています。日本のJICA（ジャイカ・こくさいきょうりょくきこう 国際協力機構）とよばれる組織が、これまでなかった場所に小学校の建物を建てたり、日本人のボランティアの先生がニカラグアの先生と一緒に教室でわかりやすく算数を教えたりしています。



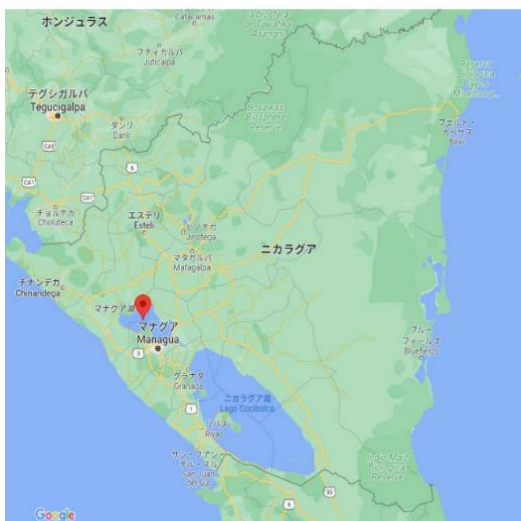
小学校の先生のJICAボランティアがニカラグアの子供たちに教える様子



日本の協力で建てたニカラグアの小学校の校舎

ニカラグアの首都マナグアにはびわ湖より 1.5 倍大きなマナグア湖があります。何十年も長い間、生活（トイレ）の水や工場から出された汚い水、畑の肥料が入った泥などが、たくさん流れ込んでいます。とても汚れてくさく、人々が近づきたくない、見たくもない場所でした。

ニカラグアの湖



最大の湖 ニカラグア湖	二番目に大きな湖 マナグア湖
8,264 km ²	1,049 km ²



× 12



× 1.5

日本最大の湖
琵琶湖

670 km²

ニカラグア湖はびわ湖の
12 倍の大きさ
マナグア湖はびわ湖の
1.5 倍の大きさ

10 年前ごろから、水をきれいにする処理場、ゴミの処理場ができたおかげで、マナグア湖の水の匂いはましになりましたが、長年汚された水はすぐにはきれいになりません。



たくさんゴミが浮いているマナグア湖の湖畔



マナグア湖と隣り合わせの首都マナグア

その状況を見た JICA ニカラグア事務所のスタッフたちは、この汚れた湖の水をなんとかきれいにして、泳いだり、飲んだりできるようにならないだろうかと考え始めました。そこで、滋賀県の「うみのこ」をお手本にして、子どもたちが船に乗って、湖の水をどうしたらきれいにできるかをニカラグアの人たちと一緒に考えることを思

いつきました。それが**ニカラグア版 UMINOKO** の始まりです。2021年に始まりました。「うみのこ」の楽しさや良さは滋賀県からニカラグアに伝わり、次の年もニカラグアの人々が中心になって、**ニカラグア版 UMINOKO** をつづけています。

ニカラグア版 UMINOKO に参加した多くの子どもはドキドキワクワクしながら人生初めての船に乗り、マナグア湖の水の様子を観察しました。水の色は、時には茶色く、日が差すと緑色になり、場所によっては、たくさんゴミが浮かんでいるのを見ました。船の中では、^{けんびきょう}顕微鏡で水の中の^{ぼう}棒やほこりのような形の生き物が動くのを見て、どのような生き物がいるのか学びました。最後にマナグア湖の水をきれいにするには、何をしたらいいかについて、クラスメートと話し合い、^{いっしょ}一緒に船からマナグア湖の景色を見ながら、おしゃべりをして楽しみました。皆、一生の思い出となったようです。



ニカラグアの小学生が UMINOKO を体験



ニカラグアの UMINOKO で^{けんびきょう}顕微鏡をのぞく子ども達

ニカラグアには滋賀県の「うみのこ」のような特別な船はないので、いつもは観光客船として使われている船に乗って、2時間くらいかけて UMINOKO を体験します。船に乗る時間は短いですが、UMINOKO はニカラグアの子どもたちにとって特別な経験になったようです。

近いうちに、ニカラグアと滋賀県の小学生同士が、「うみのこ」の体験談をお互いに教えあう日、仲良くなれる日がくるかもしれません！